日本児童英語教育学会（JASTEC）
第 43 回全国大会 【第2次案内】修正版

大会テーマ:『VUCA 時代における児童英語教育の行方』

3年以上の長期に至った感染症との戦いもようやく明るい出口が見えてきました。一方で、国際情勢は予断を許さず、世界の平和は薄氷を踏むような危うい状況にあります。また、対話型 AI の飛躍的な発展など、当初の予測より遙かに早く、人工知能が人類の英知を乗り越えるのではないかとも言われています。

この先の見えない時代の中、日本の英語教育は歴史的な改革に挑戦しています。小中高を通して「言語活動」をキーワードに、単なる知識の習得に留まらず、学んだことを使ってどんなことができるかを目指しています。この改革は、道半ばではありますが、新しい時代に向けた先進的な実践や、校種を超えたダイナミックな研究が、少しずつ行われるようになりました。本学会も、ポストコロナの時代を見据え、対面とオンラインの双方の良さを活かした、ハイブリッドでの学会運営に挑戦します。VUCA 時代の児童英語教育が、どこに向かって行こうとしているのか。発表者・参加者の皆様といっしょに、考える機会にしていきたいと思います。多くの関係者のみなさまにご出席いただけますよう、お願い申しあげます。

2023 年 5 月吉日
日本児童英語教育学会（JASTEC）
会 長　　アレン 玉井光江
大会実行委員長 巽 徹
大会事務局　 加藤 拓由

✧ 日時:7 月8日（土）12:45～16:20（12:30 入室開始）
@オンライン（Web 会議システム Zoom の使用）
7 月 9 日（日）10:15～15:40
@中部学院大学各務原キャンパス（対面）
@オンライン（11:30 入室開始）

✧ 参加費: 一般参加 2,000 円　学生参加 1,500 円
申し込みフォームで選択された方法で、期日までに参加費の支払いをお願いいたします。

JASTEC 会員は無料ですが、参加申込の前に本年度の会費納入（学会 HP より）をお願いいたします。

2023 年度年会費納入先

個人会員の方
〈学会 HP から〉https://jastec.smoosy.atlas.jp/ja/kaihi

団体賛助会員の方
〈ゆうちょ銀行から〉 00930−3−0001621「日本児童英語教育学会」
〈他の金融機関から〉 店番 099 当座 0001621「日本児童英語教育学会」

✧ 申込方法：

＊会員・非会員に関わらず、イベント・ペイでの事前申込が必要です。

＊イベントペイ申込 URL

https://eventpay.jp/event_info/?shop_code=4315111658358156&EventCode=P406213479

＊二次元コード

＊申込期間　5 月 15 日（月）～7月 7 日（金）17:00

キャンセルは受け付けておりませんので、ご注意ください。

大会 2 日間の zoom 情報及び資料の共有リンク（配布資料がある場合）は

7 月 7 日 18:00 頃に配信されるリマインドメールでお知らせ致します。

✧ 照会先：中部支部事務局 加藤 拓由（岐阜聖徳学園大学）

℡：058 - 279 - 0804（代表）内線：6571　E-mail：kato0116@gifu.shotoku.ac.jp

✧ **プログラム概要** (詳細決定後改めてお知らせします。)

第 1 日（7 月 8 日）【全てオンライン】

12:00～12:15 発表者・司会者・講演者接続確認

12:15～12:45 受付

12:45～12:55 開会行事

13:00～16:10　研究・実践発表

セッション①　13:00～13:30
セッション②　13:40～14:10
セッション③　14:20～14:50
セッション④　15:00～15:30
セッション⑤　15:40～16:10

＊詳細は後掲の「研究・実践発表一覧」にてご確認ください。

第2日（7 月 9 日） ＊以降、敬称略

10:15～10:30 事務連絡

10:30～11:00 授業実践報告①【対面】

1. 長谷川未千枝 広島市立大塚小学校
2. 中山愛恵　　新潟県柏崎市立荒浜小学校
3. 松田洋和　　岐阜県多治見市立北栄小学校

11:10～11:40 授業実践報告②【対面】　　上記内容のリピート

11:45～12:00 協賛企業プレゼンテーション【対面＆オンライン】

12:15～12:45 総会 【対面&オンライン】

13:00～14:00 ワークショップ 【各位参照】

「多感覚を用いたシンセティック・フォニックス」60 分【オンライン】
講師 山下 桂世子 （英国 Ashbrook School）

「絵本の読み書かせに始まる英語授業」 30 分×2回**【対面】**
講師 田縁 眞弓 （京都光華女子大学）

「英語紙しばいの読み聞かせ」 30 分×2回 **【対面】**
講師 坂井 邦晃 （英語紙芝居師･アトリエさかい）

14:15～15:15 講演 **【対面&オンライン】**

「ワーキングメモリと英語入門」
講師 湯澤 美紀 （ノートルダム清心女子大学）

15:20～15:40 閉会行事

７月８日（土）<研究・実践発表一覧>　【全てオンライン（メイン会場、A～E 会場）】

セッション	メイン会場	A 会場	B 会場	C 会場	D 会場	E 会場
①		小学校英語の評価とそれに向けた学習と指導における ICT 活用の可能性 〔Can-Do 評価尺度に基づいた指導者の振り返りと実践を通して〕 泉　恵美子（関西学院大学）／長沼 君主（東海大学）／ 奥平 明香（豊見城市立ゆたか小学校）	小学校外国語における ICT を用いた校内３学級交流の有効性について 中垣　州代（畿央大学）文　鐘聲（畿央大学）	小学生との遠隔交流授業を成功させるための取り組み：オンラインで心を繋ぐために積み上げた小さな工夫と仕掛け 仲沢　淳子（上智大学短期大学部） 狩野　晶子（上智大学短期大学部）	小学校外国語授業での ICT の有効的な活用を探る実践 ―子供の学びと授業者の視点― 中村　香（東京学芸大学附属小金井小学校）	
②		中学１年生の「外国語学習」振り返り調査からみる小中連携の成果と課題〔近畿地区の私立中学校調査に基づく〕 工藤　律子（大阪成蹊短期大学）	小学校教員養成課程外国語指導法の改善に向けて　〔韓国小学校教員養成の成果から示唆を得て〕 東 仁美（聖学院大学）／小川隆夫(聖学院大学）／ ロバート・ローランド（聖学院大学）／ 松崎 奈穂（昭和女子大学附属昭和小学校）	学級担任と専科教員の比較調査〔インタビュー及び授業観察から得た研修ニーズ〕 フェネリー　マーク（四国大学） ／福田 スティーブ　利久(文教大学）／ カイザー メイガン レネー(徳島大学)	『初等教科教育法（英語）外国語活動』、『小学校英語』履修者の意識調査から〔これからの外国語活動の展望へ〕 高木　浩志（奈良教育大学）	小学校外国語専科教員が生き生きと働くために〔市内専科教員同士の連携を質的研究から捉える〕 鈴木 さおり（玉川大学・非）
③	JASTEC 課題研究発表枠 酒井 英樹	「奈良の学習法」で異文化社会を生き抜くコミュニケーション能力の素地を養うには〔ウクライナ避難民ヴィクトリアさんとの三回の交流を通じて（二年)〕 朝倉　慶子（奈良女子大学附属小学校）	小学校の英語学習における文化の学びの研究〔「中学校へのパスポート［文化編］」の活用〕 清田　洋一（明星大学）／ 黒木愛（杉並区立堀之内小学校）／ 栗原 文子（中央大学商学部）／ 中山 夏恵（文教大学教育学部）	楽しみながら英語を学び，世界に関心をもつ児童を育てる英語科学習〔題材の楽しさ・異文化の面白さを味わいながら，自然と英語に触れることをねらった低学年の英語科学習〕 丹羽 宏美（岐阜市立長良東小学校）	低学年児童の英語聞き取り能力向上のためのタスク開発 物井 尚子（千葉大学）／ 折原俊一（千葉大学教育学部附属小学校）	小学生高学年日本人英語教師の発音指導３要素に関する意識調査と発音指導効果の評価 アーウィン 玲子(名古屋外国語大学)
④		社会や世界、他者とつながり、伝わる喜びを感じられる小学校外国語　〔社会や世界とつながるホンモノの言語活動を通して〕 横手　佳菜子（熊本市立出水南小学校）	公立小学校における外国語の授業で育つ児童の言語的な気づきについて アレン玉井光江（青山学院大学）／ 澁谷 順子（杏林大学）	児童が苦手なアルファベットの文字に重きをおいて学習した時の効果〔小学校３年生のアルファベット学習において〕 長沼　久美子（横須賀市立鶴久保小学校）	「音と文字」の関係への気付きを高め，主体的に学びに向かう子の育成〔中学校「読むこと」につながる，やり取りを大切にした文字指導〕 玉木　由佳（中津川市立福岡小学校）	絵本を活用した Learning by Storytelling の実践〔3 つの公立小学校での試み〕 小野　尚美（成蹊大学）／泉恵美子（関西学院大学） ／ 赤枝 康隆（明石市教育委員会）／ 宮武 夏貴（尼崎市立尼崎北小学校）
⑤		「学びに向かう力」の向上に向けての児童の変容と考察〔英語に苦手意識を抱く児童たちの小 3 から 3 年間の追跡と観察から〕 森本　敦子（高野山大学）／ 黒川　愛子（帝塚山大学）	小学校英語授業観察から検証する教師の役割，活動順序,教師発話や turn-taking について 渡慶次 正則（名桜大学）	話を聞いていることが相手に伝わるように応答することができる児童の育成 伊藤　世理子（名古屋市立上野小学校）	多重知能（MI）理論を基にした小学校英語教科書の活動に関する考察 小野　祥康（北海道科学大学）	会話パターンと動画を活用した Small Talk 指導法の開発と実践 大野 恵理（三重大学）